

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着 ・自らの考えを理論立てて伝える力 ・活用力を問う問題 <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</p> <p>王子中学学習スタイルの浸透（校内研究とリンクさせた、1時間完結型の授業の徹底）させ、生徒が思考力を整理できるようにする。また、考えをしっかりと持ちそれを伝える力をつけさせる。（無回答を減らす）</p>	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小集団活動における「学び合う力」の向上 ・小集団活動におけるリーダーの育成
指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践力のある生徒を育成するために、活用力をつけるような授業実践を行う。そのために小集団活動（*）を組み入れた学習を全教科で展開していく。授業は「今日の学習」をはじめとする4枚のプレートの活用及びユニバーサルデザインを意識した「本時の流れ」を活用し、思考の整理ができる授業展開を目指す。 （*）小集団活動を活発化するために、毎日の短学活で1日の反省を班ごとに行ったり、大きな行事の前には学活の時間を特設し、「ダイヤモンドランキング」等の班→学級で考えさせる取り組みをたくさん組み入れることで、「協力する心」の育成、「実践力のある生徒」の育成に取り組んでいく。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣を身につけさせるために、自学ノートの取り組みは月別学習表を配布して教科指定をしたり教科ごとに準備した貼り付けプリントで適宜復習をさせたりするページと、生徒自身が考えて取り組むページにわけて行う。また、授業、朝自習とリンク（◇）させた学習に取り組む。 （◇）授業で取り組んでいる内容や最低限身につけさせたい基礎的な内容をプリントにまとめて配布したり教科書で設定したりすることで自学ノートを取り組みやすく工夫。家庭学習の内容をさらに翌日の朝自習で再復習。ひと月単位で家庭学習検定を行ったり、定期テストの範囲に入れたりして、学習内容を浸透させる工夫を行っていく。状況は学年通信やPTAなどを通して、家庭と協働して力をつけさせていく。 	

学力に関する達成指標	<p>王子中学学習スタイルを浸透させた1時間完結型の授業と、家庭学習とリンクさせた学習を仕組んでいくことで、生徒が意欲的に授業に参加し、基礎基本はもとより活用力を身につけたと実感できるようにさせる。</p> <p>（定期テストにおける正答率30%未満の生徒の割合を10%以内）</p>
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

